取扱説明書（保証書付）

家庭用　BL認定品

大阪ガス

給湯暖房機

2温度タイプ

135-R840　135-R850
135-R842　135-R852
135-R844　135-R854
135-R845　135-R855
135-R846　135-R856

簡易2温度タイプ

135-R860
135-R862
135-R864
135-R865
135-R866
135-R867

型　名

RUH-V2403W2-1(B)　RUH-V1613W2-1(B)
RUH-V2403T2-1(B)　RUH-V1613T2-1(B)
RUH-V2403A2-1(B)　RUH-V1613A2-1(B)
RUH-V2403B2-1(B)　RUH-V1613B2-1(B)
RUH-V2403U2-1(B)　RUH-V1613U2-1(B)
RUH-V1613W(B)
RUH-V1613T(B)
RUH-V1613A(B)
RUH-V1613B(B)
RUH-V1613U(B)
RUH-V1613F(B)

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの給湯暖房機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

- ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- この「取扱説明書」には保証書が付いています。大切に保管してください。
- この製品は国内専用です。

もくじ

ページ

H131-902×01(01)
08,03(02)Ⓚ

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

内容の区分

表示	⚠危険	⚠警告	⚠注意
意味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷　　害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の意味

⚠ 一般的な危険 警告 注意	火災注意	一般的な禁止
触れないこと	ぬれ手禁止	分解禁止
必ず行うこと	電源プラグをコンセントから抜く	必ずアース線を接続する

⚠危険

ガス漏れに気付いたときの処置

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。 ➡ **②窓や戸を開けガスを外へ出す。** ➡ **③もよりの大阪ガスに連絡する。**

⚠危険

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁

火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止

電気器具（換気扇など）のスイッチの「入・切」禁止

ガスのにおいのする場所での電話の使用禁止

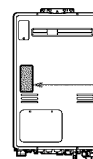
ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

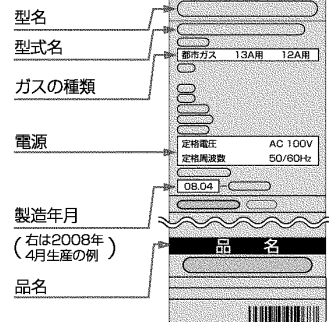
屋内設置禁止

この機器は屋外用です。
屋内や浴室内に設置して使用しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

⚠警告

機器の銘板を確認

使用する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）および使用する電源（AC100V・50-60Hz共用）に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外のガス種および電源を使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

※この機器の銘板はフロントカバーのここに張ってあります。

※下図は銘板の一例です。

この機器はAC100V（50/60Hz）用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

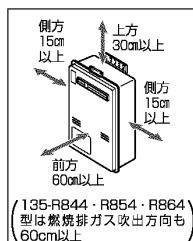
 必ず行うこと　 一般的な禁止

安全上のご注意

⚠警告

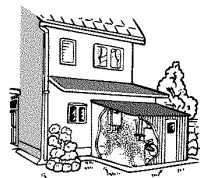
火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の物とは常に右図の離隔距離を確保してください。
- 機器や排気口・給排気筒トップが洗たく物などでおおわれないようにしてください。
- 機器や排気口・給排気筒トップの周囲には、紙や木材などの燃えやすい物を置かないでください。
- 機器や排気口・給排気筒トップの周囲では、スプレー・ガソリン・ベンジンなどの引火性危険物を置いたり、使用したりしないでください。引火して火災の恐れがあります。

- 機器や排気口・給排気筒トップの周囲にスプレー缶・カセットこんろ用ボンベなどを置いたり、使用したりしないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発する恐れがあります。

囲い設置禁止

この機器は屋外用ですので、増改築などによって屋内状態にしないでください。機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災の恐れがあります。

お子様に対する注意

おふろを沸かしているとき（浴槽に湯はりしているとき）にお子様を浴室で遊ばせないようにしてください。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながることがあります。入浴中お子様が浴槽に潜ったりしないようにしてください。特に小さなお子様のいるご家庭では注意が必要です。

機器本体に無理な力を加えない

機器本体やガスの接続口・排気口などに乗らないでください。けがや機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼の恐れがあります。

ガス事故防止のために

この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

リモコン接続時はソーラー接続禁止

リモコンがある場合は、太陽熱温水器（ソーラーシステム）とは直接接続しないでください。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをする恐れがあります。

工事は資格必要

この機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

機器やリモコンの分解は禁止

サービスマン以外の方は機器のフロントカバーをはずしたり、分解しないでください。また、リモコンも分解しないでください。事故や故障の原因になります。

やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。やけどの予防のために出始めのお湯は手や体にかけないでください。また、給湯使用時は給湯栓が熱くなりますのでやけどに注意してください。

- シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけず、手のひらで湯温を十分に確認してから使用してください。
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

- **給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。**
- 入浴時には浴槽のお湯を十分にかきまぜてから、必ず手で湯温を確認してから入浴してください。
- 浴槽にバスヒーターが設置されている場合、おいだき中は循環口付近が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- パネルヒーターの表面はさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

- **床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。**
  特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
  ①乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
  ②疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
  ③皮膚や皮膚感覚の弱い方

安全上のご注意

⚠警告

ゆらぎのシャワー使用上の注意

- **次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。体調をくずすことがあります。**

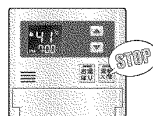
①妊娠中の方　④高血圧の方
②医者から入浴を禁じられている方　⑤体力の弱っている方
③お酒を飲んだあとや深酒をされた方　⑥体調の悪い方

機器の異常に気付いたら

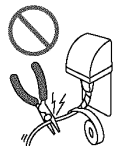
- 使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。
- 異常を感じたときは、「故障かな？と思ったら」(51～54ページ)に従ってください。
上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉めてください。

①給湯栓をすべて閉める。

②運転スイッチを「切」にする。

③ガス栓を閉める。

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長はしないでください。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。

- 電源プラグのほこりなどは定期的に取ってください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。また、雨が降り出している場合は電源プラグを抜かないでください。感電の恐れがあります。

⚠注意

ご使用上の注意

- 給湯・シャワー・おふろ沸かし・暖房（乾燥）以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。
- 使用中や使用直後は排気口・排気筒トップやその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。

- この機器はアースが必要ですのでアースされていることを確認してください。

- 排気口や排気筒トップに指や棒を入れないでください。故障やけがの原因になります。

- 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

⚠お願い

機器の設置状態の確認

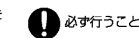
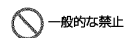
- 機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。

①機器は傾いて設置されていませんか？
②冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？正常な燃焼の妨げになることがあります。
③棚の下など落下物の危険はありませんか？
④メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
⑤近隣の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機・ポンプ回転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか？
⑥排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因になります。

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

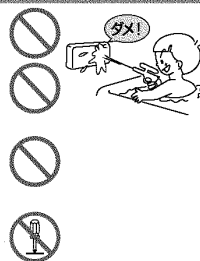
- 増改築によって、燃焼排ガスが直接建物の外壁・窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは排気口・排気筒トップの周囲に置かないでください。
- 温泉水・地下水・井戸水では使用しないでください。水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。
- この機器は一般家庭用です。業務用として多頻度・長時間のご使用は、機器の寿命を著しく縮めることになりますのでご承知おきください。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。

一般的な禁止　ぬれ手禁止

必ず行うこと

安全上のご注意

⚠お願い

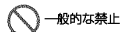
リモコンの取り扱いについて

- リモコンはお子様がいたずらしないように注意してください。思わぬ事故や故障の原因になります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。また、台所・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
- リモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
- リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。

ご使用上の注意

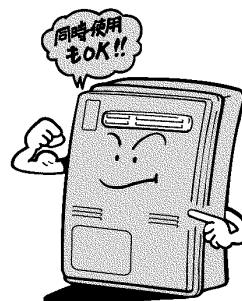
- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。
- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。
- 断水時には運転を停止して給湯栓を閉めてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。また断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。給湯栓から十分水を流してから使用してください。
- 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水・調理用水としてお使いください。

- 硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器などが腐食する原因となるものがありますので入浴剤などのご注意文を十分ご参照ください。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器やガス管などにかかった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。
- 給水・給湯配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。

乾電池に関するご注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理をしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。

必ず行うこと

機能と特長

給湯も暖房もこれ一台でOKです。

お湯はりスイッチを押し、おふろの蛇口を開けます。浴槽へお湯をはり終わると自動的にお湯を止め、音声またはブザー（リモコンによって異なります）でお知らせします。
（27ページ参照）

お湯の断続使用での湯温安定機能（Q機能）搭載により湯温の安定性を向上させました。（当社比）

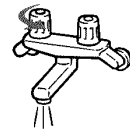
『ゆらぎのシャワー』で心と体のリフレッシュ!!
（37ページ参照）

※ゆらぎのシャワーはお湯の温度が1/fのゆらぎで変化し、自然のリズムで体をリフレッシュさせるシャワーです。

はじめてお使いのときは、まず

1. 給水元栓を全開にします。

機器の下部

2. お湯の蛇口を開け、水が出ることを確認してから閉めます。
（すべてのお湯の蛇口について）

お湯の使用場所

3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
（分電盤の専用スイッチを「入」にしてください）

⚠注意 ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

機器付近の壁・分電盤

4. ガス栓を全開にします。

機器の下部

各部のなまえとはたらき（台所リモコン）

台所リモコン（スイッチ）　（別売品　138-R015）

● 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。

❶表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸お湯はりスイッチ／ランプ（赤）
おふろに湯はりをするときに押します。
（27ページ参照）

❹運転スイッチ／ランプ（黄緑）
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」（表示画面・運転ランプ点灯）にします。

❺静音スイッチ／ランプ（黄緑）
暖房運転を静音に設定するときに押します。
（45ページ参照）

❻お湯はり湯量スイッチ
おふろへの湯はり量を変えるときに使います。
（31ページ参照）

❼お湯はり温度スイッチ
おふろへの湯はり温度を変えるときに使います。
（33ページ参照）

❽音量スイッチ
音声の大きさ（音量）を変えるときに使います。
（35ページ参照）

❾セーブスイッチ
画面表示の節電設定を変えるときに使います。
（36ページ参照）

❿時計合せスイッチ
リモコンの時計を合わせるときに使います。
（39ページ参照）

⓫スピーカー
ここから音声が出ます。

お願い
• スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
• スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

台所リモコン（表示画面）

● スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
　点灯しない場合は、もう一度操作してください。
● 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

❶優先表示（オレンジ）
この表示が点灯中は給湯温度が変えられます。

❷凍結予防表示
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。

❸高温表示（赤）
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。

❹ふろ表示（オレンジ）
おふろへの湯はり温度を表示しているときに点灯します。

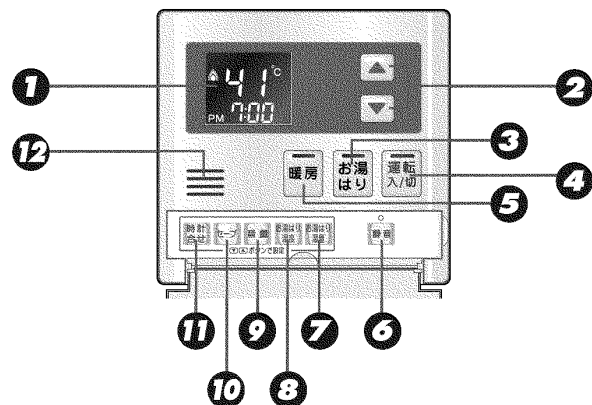
❺時刻・ふろ湯量表示
現在時刻や予約時刻を表示します。
おふろへの湯はり量を設定しているときは、設定湯量を表示します。
故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。（54ページ参照）

❻給湯・ふろ温度表示（単位℃を含む）
給湯温度のめやすを表示します。
ふろ表示点灯中は、おふろへの湯はり温度を表示します。

❼燃焼表示（赤）
機器が燃焼しているときに点灯します。

各部のなまえとはたらき（台所リモコン）

台所リモコン(スイッチ)　(別売品　138-R016)

● 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。表示画面については10ページをご覧ください。

❶ 表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷ 給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸ お湯はりスイッチ／ランプ(赤)
おふろに湯はりをするときに押します。
(27ページ参照)

❹ 運転スイッチ／ランプ(黄緑)
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。

❺ 暖房スイッチ／ランプ(赤)
暖房をするときに押します。(43ページ参照)

❻ 静音スイッチ／ランプ(黄緑)
暖房運転を静音に設定するときに押します。
(45ページ参照)

❼ お湯はり湯量スイッチ
おふろへの湯はり量を変えるときに使います。
(31ページ参照)

❽ お湯はり温度スイッチ
おふろへの湯はり温度を変えるときに使います。
(33ページ参照)

❾ 音量スイッチ
音声の大きさ(音量)を変えるときに使います。
(35ページ参照)

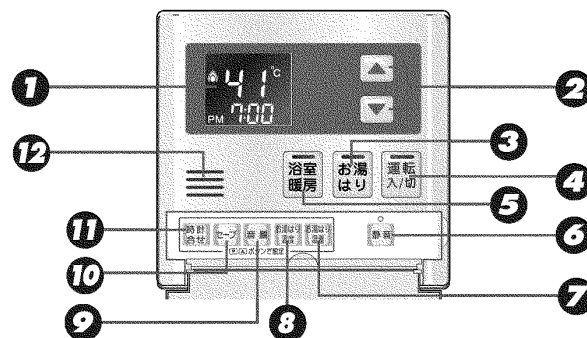
❿ セーブスイッチ
画面表示の節電設定を変えるときに使います。
(36ページ参照)

⓫ 時計合せスイッチ
リモコンの時計を合わせるときに使います。
(39ページ参照)

⓬ スピーカー
ここから音声が出ます。

お願い
・スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

台所リモコン(スイッチ)　(別売品　138-R017)

● 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。表示画面については10ページをご覧ください。

❶ 表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷ 給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸ お湯はりスイッチ／ランプ(赤)
おふろに湯はりをするときに押します。
(27ページ参照)

❹ 運転スイッチ／ランプ(黄緑)
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」(表示画面・運転ランプ点灯)にします。

❺ 浴室暖房スイッチ／ランプ(オレンジ)
浴室暖房をするときに押します。(44ページ参照)

❻ 静音スイッチ／ランプ(黄緑)
暖房運転を静音に設定するときに押します。
(45ページ参照)

❼ お湯はり湯量スイッチ
おふろへの湯はり量を変えるときに使います。
(31ページ参照)

❽ お湯はり温度スイッチ
おふろへの湯はり温度を変えるときに使います。
(33ページ参照)

❾ 音量スイッチ
音声の大きさ(音量)を変えるときに使います。
(35ページ参照)

❿ セーブスイッチ
画面表示の節電設定を変えるときに使います。
(36ページ参照)

⓫ 時計合せスイッチ
リモコンの時計を合わせるときに使います。
(39ページ参照)

⓬ スピーカー
ここから音声が出ます。

お願い
・スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
・スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

各部のなまえとはたらき（浴室リモコン）

浴室リモコン（スイッチ） （別売品　138-R018）

● 浴室に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

❶表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸お湯はりスイッチ／ランプ（赤）
おふろに湯はりをするときに押します。
（27ページ参照）

❹ゆらぎのシャワースイッチ／ランプ（黄緑）
ゆらぎのシャワーを使うときに押します。
（37ページ参照）

❺運転スイッチ／ランプ（黄緑）
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」（表示画面・運転ランプ点灯）にします。

❻お湯はり湯量スイッチ
おふろへの湯はり量を変えるときに使います。
（31ページ参照）

❼お湯はり温度スイッチ
おふろへの湯はり温度を変えるときに使います。
（33ページ参照）

❽音量スイッチ
音声の大きさ（音量）を変えるときに使います。
（35ページ参照）

❾セーブスイッチ
画面表示の節電設定を変えるときに使います。
（36ページ参照）

❿スピーカー
ここから音声が出ます。

⓫優先スイッチ／ランプ（オレンジ）
※台所リモコンまたは増設リモコン設置時のみ
給湯温度の優先権を切り替えるときに押します。
（23ページ参照）

⓬呼び出しスイッチ
※台所リモコンまたは増設リモコン設置時のみ
押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴ります。（このスイッチにランプはありません）
（34ページ参照）

お願い
• スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
• スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

浴室リモコン（表示画面）

● スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
点灯しない場合は、もう一度操作してください。
● 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

❶給湯温度表示（単位℃を含む）
給湯温度のめやすを表示します。

❷高温表示（赤）
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。

❸浴室暖房表示
※対応浴室暖房乾燥機接続時のみ表示
浴室暖房運転中に点灯します。

❹燃焼表示（赤）
機器が燃焼しているときに点灯します。

❺湯はり温度表示（単位℃を含む）
おふろへの湯はり温度のめやすを表示します。
湯はり湯量表示（単位ℓを含む）
湯はり量設定時は湯はり温度表示が湯はり湯量表示に変わります。

❻水位表示
おふろへの湯はり量のめやすを表示します。
実際の浴槽での水位とは一致しません。

❼ゆらぎ表示
この表示が点灯中はゆらぎのシャワーが使用できます。

❽時刻表示
現在時刻を表示します。（台所リモコン設置時のみ）
故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。（54ページ参照）

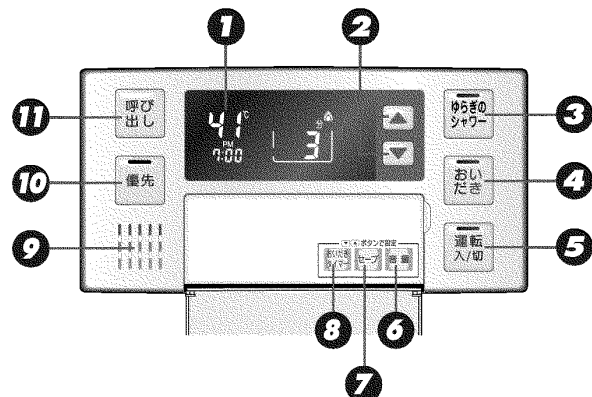
❾凍結予防表示
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。

各部のなまえとはたらき（浴室リモコン）

浴室リモコン（スイッチ）　（別売品　138-R019）

※このリモコンは135-R860～R867型とは接続できません。

- おいだきタイマー機能付き（バスヒーター専用）浴室リモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。また、呼び出しスイッチを押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴り、台所などにいる人を呼び出すこともできます。

❶表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸ゆらぎのシャワースイッチ／ランプ（赤）
ゆらぎのシャワーを使うときに押します。
（37ページ参照）

❹おいだきスイッチ／ランプ（黄緑）
バスヒーターでおふろのおいだきをするときに押します。
（41ページ参照）

❺運転スイッチ／ランプ（黄緑）
お湯を使うときやおふろに湯はりをするときは「入」（表示画面・運転ランプ点灯）にします。

❻音量スイッチ
音声の大きさ（音量）を変えるときに使います。
（35ページ参照）

❼セーブスイッチ
画面表示の節電設定を変えるときに使います。
（36ページ参照）

❽おいだきタイマースイッチ
おいだき時間を決めるときに使います。
（41ページ参照）

❾スピーカー
ここから音声が出ます。

❿優先スイッチ／ランプ（オレンジ）
※台所リモコンまたは増設リモコン設置時のみ
給湯温度の優先権を切り替えるときに押します。
（23ページ参照）

⓫呼び出しスイッチ
※台所リモコンまたは増設リモコン設置時のみ
押すと台所リモコン・増設リモコンのブザーが鳴ります。（このスイッチにランプはありません）
（34ページ参照）

お願い
- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

浴室リモコン（表示画面）

- スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
  点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

❶給湯温度表示（単位℃を含む）
給湯温度のめやすを表示します。

❷高温表示（赤）
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。

❸浴室暖房表示
※対応浴室暖房乾燥機接続時のみ表示
浴室暖房運転中に点灯します。

❹燃焼表示（赤）
機器が燃焼しているときに点灯します。

❺おいだきタイマー表示（単位分を含む）
おいだきタイマーの時間を表示します。

❻ゆらぎ表示
この表示が点灯中はゆらぎのシャワーが使用できます。

❼時刻表示
現在時刻を表示します。（台所リモコン設置時のみ）
故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。（54ページ参照）

❽凍結予防表示
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。

各部のなまえとはたらき（増設リモコン）

増設リモコン（スイッチ）　（別売品　138-R003）

● 洗面所などにこのリモコンを取り付ければ、手もとで給湯温度を変えることができます。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音でお知らせします。

❶表示画面
お湯の温度や運転状態・時刻などを表示します。

❷給湯温度スイッチ
給湯温度を変えるときに押します。
また、その他の設定を変えるときにも使います。

❸運転スイッチ／ランプ（黄緑）
お湯を使うときは「入」（表示画面・運転ランプ点灯）にします。

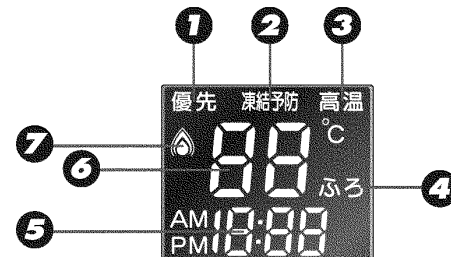
❹操作音スイッチ
操作音を消すときに使います。（40ページ参照）

❺セーブスイッチ
画面表示の節電設定を変えるときに使います。（36ページ参照）

❻スピーカー
ここから音声が出ます。

お願い
• スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聴こえにくくなります。スピーカー部には水がかからないようにご注意ください。
• スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。

増設リモコン（表示画面）

● スイッチを操作した場合は、表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。
点灯しない場合は、もう一度操作してください。
● 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

❶優先表示（オレンジ）
この表示が点灯中は給湯温度が変えられます。

❷凍結予防表示
機器が自動的に凍結予防運転を行っているときに点灯します。

❸高温表示（赤）
給湯温度が60℃に設定されているとき点灯します。

❹ふろ表示（オレンジ）
おふろへの湯はり温度を表示しているときに点灯します。

❺時刻表示
現在時刻を表示します。
故障表示
機器や使用方法に不具合があったときに点滅します。（54ページ参照）

❻給湯・ふろ温度表示（単位℃を含む）
給湯温度のめやすを表示します。
ふろ表示点灯中は、おふろへの湯はり温度を表示します。

❼燃焼表示（赤）
機器が燃焼しているときに点灯します。

各部のなまえとはたらき（スタンダードタイプのリモコン）

下記のリモコンはスタンダードタイプです。このリモコンでは、給湯温度の変更のみできます。暖房の操作は各端末のリモコンで行います。

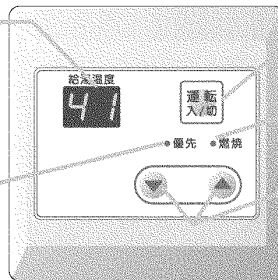
台所リモコン

（別売品　138-R020型）

デジタルモニター

通常は給湯設定温度を表示します。
- 機器および使用方法に不具合があった場合は故障表示が点滅します。（54ページ参照）
- 運転スイッチ「入」にて点灯します。

優先ランプ（オレンジ）

このランプが点灯しているときは、給湯温度スイッチで湯温が変えられます。
- 消灯中は台所リモコンでの湯温の調節はできません。

運転スイッチ

お湯を使うときは「入」（デジタルモニター点灯）にします。もう一度押すと「切」になります。

燃焼ランプ（赤）

機器が燃焼中に点灯します。

給湯温度スイッチ

給湯温度（35℃～60℃、15段階）を設定するときに使用します。（24ページ参照）

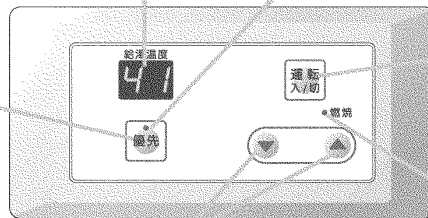
浴室リモコン

（別売品　138-R021型）

デジタルモニター

通常は給湯設定温度を表示します。
- 機器および使用方法に不具合があった場合は故障表示が点滅します。（54ページ参照）
- 運転スイッチ「入」にて点灯します。

優先スイッチ

台所リモコンと浴室リモコンの給湯温度調節の優先権を切り替えるとき使用します。（26ページ参照）

優先ランプ（オレンジ）

このランプが点灯しているときは、給湯温度スイッチで湯温が変えられます。
- 消灯中は浴室リモコンでの湯温の調節はできません。

運転スイッチ

お湯を使うときは「入」（デジタルモニター点灯）にします。もう一度押すと「切」になります。

燃焼ランプ（赤）

機器が燃焼中に点灯します。

給湯温度スイッチ

給湯温度（35℃～60℃、15段階）を設定するときに使用します。（24ページ参照）

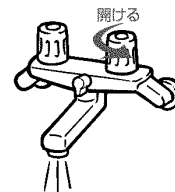
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- 操作確認音は給湯温度スイッチ ▼ ▲ 2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。（台所リモコン・浴室リモコン別々に設定できます）
- 元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

使用方法① リモコンなしの場合

⚠警告

- 給湯器からは常にあついお湯が出ます。必ず混合水栓をご使用ください。
- 高温でお湯を使用した直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。

1 お湯の蛇口を開けばお湯が出ます。

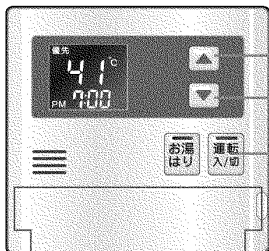
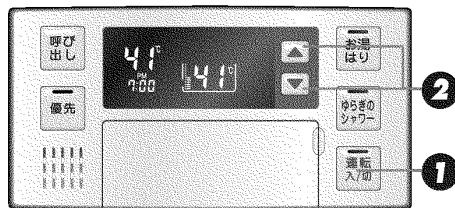
2 水の蛇口を開いて水を混ぜ、適温にしてお使いください。

- お湯を使っている途中で停電した場合は、一旦お湯の蛇口を閉めてから通電再開後に再びお湯の蛇口を開けてください。

■太陽熱温水器接続時のご注意

- **リモコンがある場合は、太陽熱温水器と直接接続できません。**
- **太陽熱温水器と接続すると、機器への給水温度が高くなり、湯温が設定温度に調節できない場合や高温になる場合がありますのでご注意ください。**
  - ・混合水栓で湯温を調節してお使いください。
  - ・給水温度が高いと機器が点火しない場合があります。

使用方法②-1 給湯温度の調節（スタンダードタイプ以外のリモコンの場合）

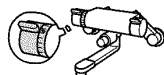
●どのリモコンでも操作できます。

台所・増設リモコン

浴室リモコン

1 運転 入/切 を「入」にし、優先表示または優先ランプが点灯していることを確認する。

※点灯しないときは23ページをご覧ください。

2 ▼ または ▲ を押して、給湯温度を設定する。

- ▲ を押すと、ブザーと共に『**給湯温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。
- ▼ を押すと、ブザーと共に『**給湯温度を○○℃に設定しました**』とお知らせします。
- ▲ を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。
- ▼ を押し続けると、連続で表示が変わります。
- 増設リモコンはピッと操作音が鳴るだけで、音声は出ません。

※サーモスタット式水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度（ハンドルの温度）より5～10℃高めにしてください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

サーモスタット式水栓の例

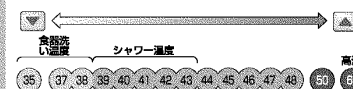
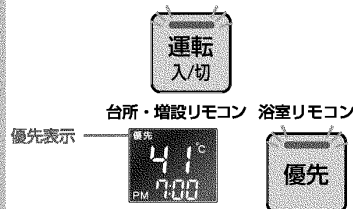
画面表示／補足

台所・増設リモコン　浴室リモコン

優先表示

▼ ⟷ ▲

食器洗い温度　シャワー温度　高温

35 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 50 60

台所・増設リモコン　浴室リモコン

※調節できる温度は35℃～60℃の15段階です。1回スイッチを押すごとに1段階ずつ変わります。上図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。

※低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが異常ではありません。

※給湯設定温度を60℃にセットすると『**あついお湯が出ます**』『**給湯温度を60℃に設定しました**』とお知らせし、表示画面に「高温」を表示して注意を促します。

※優先権のあるリモコンでのみ設定できます。（23ページ参照）

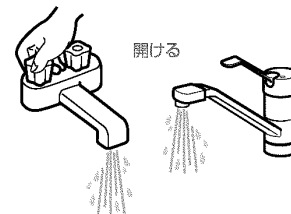
- お湯の蛇口を開くとお湯が出ます。

※お湯を使っている間は、表示画面に右下図のような燃焼表示をします。

※湯量を絞りすぎる（毎分約2リットル以下にする）とバーナの火が消えます。

お知らせ

- 給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。
- お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
- 湯量が給湯能力以上の場合は、リモコンの給湯温度表示よりもぬるいお湯が出ることがありますので、湯量を絞ってお使いください。
- おふろへ湯はり中は、リモコンの表示とは異なるふろ温度のお湯が出ます。
- リモコンの運転スイッチ「入」「切」やお湯の蛇口の開閉時または給湯使用後しばらくすると、モーターが動く音がすることがありますが、これは再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で異常ではありません。
- 停電復帰時は運転スイッチが入っていない状態になり、その後運転スイッチを入れたリモコンに優先が移ります。このとき、それぞれのリモコンの温度設定は停電前と同じ設定です。

画面表示／補足

台所・増設リモコン　浴室リモコン

燃焼表示

⚠警告

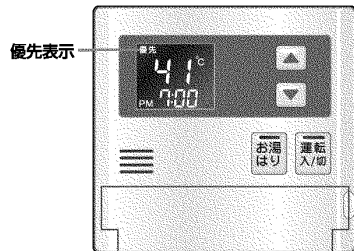
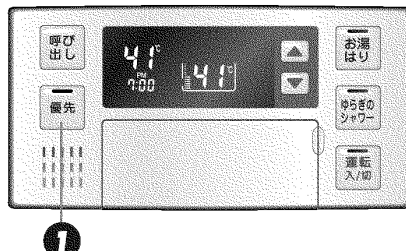
- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- おふろ（特にシャワー）の使用中は絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

使用方法②-1 給湯温度の調節（スタンダードタイプ以外のリモコンの場合）

■優先スイッチの使いかた

浴室と給湯配管先には、同じ温度のお湯を供給します。（1つの機器に接続されているすべてのリモコンで、常に同一の給湯温度を表示します）
お湯を使用中に他の人が給湯温度を変えると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか温度を変えられないようになっています。（リモコンを2台以上設置の場合）

台所・増設リモコン

浴室リモコン

1 浴室リモコンの 優先 を押す。

- 音声で**「給湯温度が変更できます」**とお知らせして 優先 のランプ（オレンジ）が点灯し、給湯温度を変更できる優先権を持つことができます。
- 優先 を1回押すごとに、優先権が以下のように交互に切り替わります。
  「浴室リモコン」⇄「台所・増設リモコン」
- 優先権の表示
  浴室リモコンが優先：
  優先 ランプ（**オレンジ**）が点灯します。

  台所・増設リモコンが優先：
  表示画面に「**優先**」が点灯します。
- 台所リモコンで給湯温度の変更ができないときは、運転入/切 をいったん「切」にし、再度「入」にして、表示画面に「優先」の表示を点灯させます。

⚠警告

- やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は優先権を切り替えないでください。

画面表示／補足

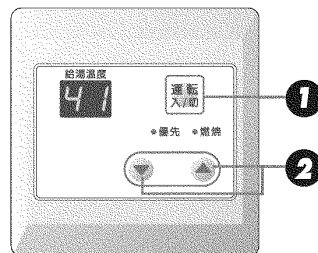
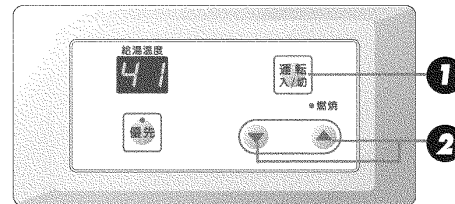
浴室リモコン

台所・増設リモコン

- 台所・増設リモコンと浴室リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持つリモコンの記憶していた温度が給湯温度になります。
- 優先権を持っていないリモコンで、▼または▲を押して、給湯温度を変更しようとすると、**「給湯温度は変更できません」**とお知らせします。（増設リモコンは音声なし）
- 浴室リモコン1台設置の場合、優先ランプは点灯したままになります。
- 運転「切」の状態から、「入」にしたときは、運転入/切 が押された側のリモコンが優先権を持ちます。
- 給湯温度の変更以外は、どちらのリモコンでも優先権に関係なく設定・使用ができます。

使用方法②-2 給湯温度の調節（スタンダードタイプのリモコンの場合）

●どちらのリモコンでも操作できます。

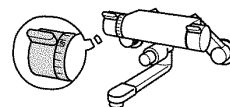
台所リモコン

浴室リモコン

1 運転入/切 を「入」にし、優先ランプが点灯していることを確認する。

※点灯しないときは26ページをご覧ください。

画面表示／補足

2 ▼ または ▲ を押して、給湯温度を設定する。

- ▲ を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。
- ▼ を押し続けると、連続で表示が変わります。

※サーモスタット式水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度（ハンドルの温度）より5～10℃高めにしてください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

サーモスタット式水栓の例

給湯温度

※調節できる温度は35℃～60℃の15段階です。
1回スイッチを押すごとに1段階ずつ変わります。
上図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。
※低い給湯温度に設定した場合、給水温度の高い条件では設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが異常ではありません。
※優先権のあるリモコンでのみ設定できます。
（26ページ参照）

使用方法②-2 給湯温度の調節（スタンダードタイプのリモコンの場合）

画面表示／補足

●お湯の蛇口を開くとお湯が出ます。
※お湯を使っている間は、表示画面に右図のような燃焼表示をします。
※湯量を絞りすぎる（毎分約2リットル以下にする）とバーナの火が消えます。

開ける

お知らせ

・給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

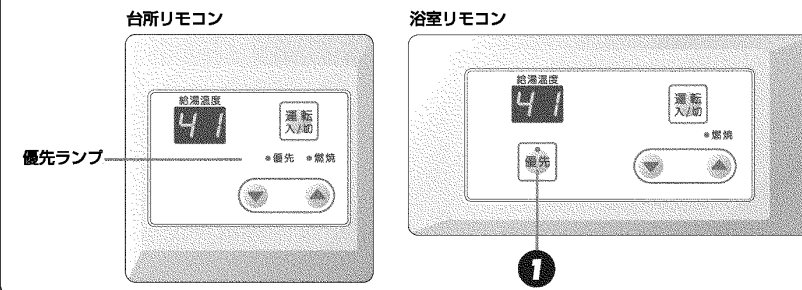
・お買い上げの際には、お湯の温度を42℃に設定してあります。
・湯量が給湯能力以上の場合は、リモコンの給湯温度表示よりもぬるいお湯が出ることがありますので、湯量を絞ってお使いください。
・おふろへ湯はり中は、リモコンの表示とは異なるふろ温度のお湯が出ます。
・リモコンの運転スイッチ「入」「切」やお湯の蛇口の開閉時または給湯使用後しばらくすると、モーターが動く音がすることがありますが、これは再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で異常ではありません。
・停電復帰時は運転スイッチが入っていない状態になり、その後運転スイッチを入れたリモコンに優先が移ります。このとき、それぞれのリモコンの温度設定は停電前と同じ設定です。

⚠警告

●高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
●おふろ（特にシャワー）の使用中は絶対にリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。
お湯が急に水になります。
●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。

■優先スイッチの使いかた

浴室と給湯配管先には、同じ温度のお湯を供給します。（1つの機器に接続されているすべてのリモコンで、常に同一の給湯温度を表示します）
お湯を使用中に他の人が給湯温度を変えると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか温度を変えられないようになっています。（リモコンを2台設置の場合）

台所リモコン

優先ランプ

浴室リモコン

❶

1 浴室リモコンの［優先］を押す。

●［優先］のランプ（オレンジ）が点灯し、給湯温度を変更できる優先権を持つことができます。
●［優先］を1回押すごとに、優先権が以下のように交互に切り替わります。
「浴室リモコン」⇄「台所リモコン」

●優先権の表示
浴室リモコンが優先：
［優先］ランプ（**オレンジ**）が点灯します。

台所リモコンが優先：
●優先 ランプ（**オレンジ**）が点灯します。

●台所リモコンで給湯温度の変更ができないときは、［運転入/切］をいったん「切」にし、再度「入」にして、●優先 ランプを点灯させます。

⚠警告

●やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は優先権を切り替えないでください。

画面表示／補足

浴室リモコン

台所リモコン

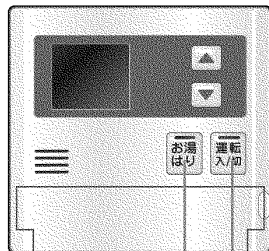
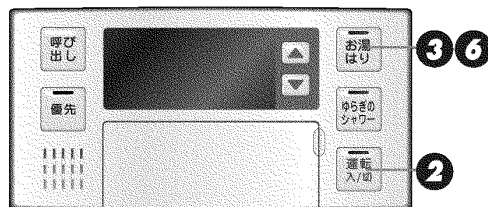
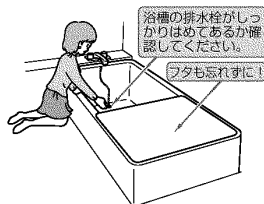
・台所リモコンと浴室リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持つリモコンの記憶していた温度が給湯温度になります。
・優先権を持っていないリモコンで、▼または▲を押しても給湯温度は変更できません。
・浴室リモコン1台設置の場合、優先ランプは点灯したままになります。
・運転「切」の状態から、「入」にしたときは、［運転入/切］が押された側のリモコンが優先権を持ちます。

使用方法③ 湯はりのオート止水機能の使いかた

●台所リモコン138-R015・R016・R017または浴室リモコン138-R018で操作します。（他のリモコンにはこの機能がありません）

お知らせ

浴槽に湯はりする前に
・サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、水栓の設定温度を最も高温にしておいてください。
・サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、水栓の構造上完全に水が止まらないことがありますのでご注意ください。詳しくは29ページをご覧ください。

台所リモコン

浴室リモコン

画面表示／補足

1 浴槽に排水栓とフタをする。

2 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

●点灯していない場合は、運転スイッチを押します。

運転 入/切

お知らせ

・湯はり温度や湯はり湯量の調節方法は、31〜33 ページをご覧ください。

画面表示／補足

3 お湯はりスイッチを押す。

●「浴槽へお湯を入れる準備ができました。ふろのお湯の蛇口を開いてください。」とお知らせしてお湯はりスイッチのランプ（赤）が点灯します。

4 お湯の蛇口を開ける。

●湯はりが始まり、表示画面には右図の表示が出ます。

台所・増設リモコン　浴室リモコン

または

または

お知らせ

・湯はりを途中で止めたいときは、
設定湯量の半分以下で止める場合は、お湯の蛇口を閉めてからお湯はりスイッチを押して「切」にします。
設定湯量が半分以上で止める場合は、お湯の蛇口を閉めればお湯はりスイッチは自動的に「切」になります。

5 湯はり終了のお知らせブザー（もしくは音声）が鳴ったら、お湯の蛇口を閉める。

●「お湯はりが終わりました。ふろの蛇口を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。」とお知らせして、お湯はりスイッチのランプ（赤）が点滅します。

台所・増設リモコン

使用方法③ 湯はりのオート止水機能の使いかた

画面表示／補足

6 お湯はりスイッチを押す。

● お湯はりスイッチのランプ（赤）が消灯します。

お願い

・サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、おふろの湯はりが終わったら水栓の設定温度を必ずやけどの恐れがない温度に戻しておいてください。

お知らせ

・「混合水栓」をお使いの場合は、その機構により冷水が少量出たままになることがあります。
必ず開閉ハンドルを閉めてください。詳しくは下の解説をご覧ください。
・お湯の蛇口を閉め忘れると、あとでお湯が使用できなくなりますのでご注意ください。
詳しくは30ページをご覧ください。
・湯はり運転中に他の蛇口でお湯を使用すると、浴槽へのお湯はり量が設定湯量より少なくなります。

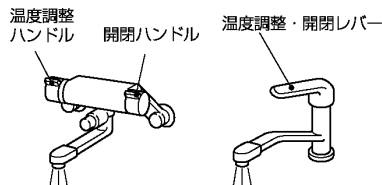
お願い

・湯はり運転中に停電があった場合は、湯はりの蛇口から水が出続けます。
・停電に気が付いたら、一旦湯はりの蛇口を閉めてください。
・停電中そのままにしておくと、停電復帰後に水は止まりますが、リモコンの表示画面に故障表示が点滅します。
この場合は湯はりの蛇口を閉めてから、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

? 解説

混合水栓をご使用の場合

• 混合水栓での温度設定が低かったり、また冷水側が開いていた場合には、冷水が回りこんで、リモコンで設定した湯はり温度よりもぬるいお湯がでたり、湯はり量が設定より多くなることがあります。

• サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、湯はりが終了して機器が自動的にお湯を止めた後も、冷水が少量、出たままになることがあります。これは異常ではありませんが、そのまま放置するとお湯の温度がぬるくなったり浴槽からお湯があふれることがあります。湯はり終了のお知らせブザー（もしくは音声）が鳴りましたらすぐに混合水栓の開閉ハンドルを閉めてください。

※イラストは温度調整機能付き混合水栓の一例です。

※イラストはワンレバー式の温度調整機能付き混合水栓の一例です

使用方法④ お湯が出なくなったら

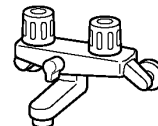
お知らせ

・お湯はりスイッチを使って湯はり操作すると湯はりは自動的に終了しますが、お湯の蛇口を閉め忘れるとお湯が使えなくなります。
どこかのお湯の蛇口を開いてもお湯が出てこない場合は、必ず下記の手順に従って湯はり運転を解除してください。

画面表示／補足

1 一旦すべてのお湯の蛇口を閉める。

● 浴槽だけでなくその他の場所も開いたままになっていないかご確認ください。

閉める

2 お湯はりスイッチを押す。

● お湯はりスイッチのランプ（赤）が消灯します。

● これで再びお湯が使えるようになります。
この機器は使用状況によってさまざまな音声でお知らせします。下記はその一例ですが、これ以外の音声が出た場合もその指示に従って操作してください

こんな音声が出るのはどんなとき？

「蛇口が開いていませんか？ 一度すべての蛇口を閉めてください。」

すべての蛇口を閉めずに点滅中のお湯はり（または運転）スイッチを押すと、お湯はり（または運転）スイッチは消灯しますが約1分間少量の給湯設定温度のお湯（または水）を流しながらこの音声がでます。すべての蛇口を閉めてください。
給湯設定温度によっては、高温のお湯が出ることがありますのでご注意ください。

「お湯が使用できません。すべての蛇口を閉めてからお湯はりスイッチを押してください。」

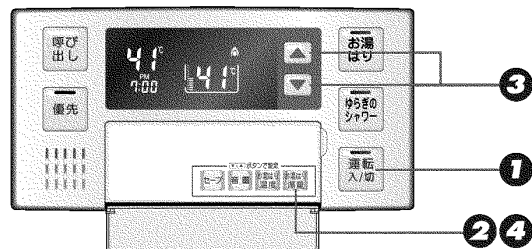
上記の状態で約1分間少量のお湯（給湯設定温度）が出ている間に蛇口が閉められなかった場合や、湯はり運転中にお湯はりスイッチを押してしまった場合、この音声が出て機器が自動的に止水します。お湯はりスイッチは点滅したままになりますので、必ずすべての蛇口を閉めてからお湯はりスイッチを「切」にしてください。

「すべての蛇口を閉めてから運転スイッチを押してください。」

湯はり運転中に運転スイッチを押して「切」にしたまま約1分以上蛇口を閉め忘れていませんか？音声に従い、すべての蛇口を閉めてから運転スイッチを押してください。

使用方法⑤ 湯はり量を調節する

●台所リモコン138-R015・R016・R017または浴室リモコン138-R018で操作します。（他のリモコンにはこの機能がありません）

浴室リモコン

❶ 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認する

●点灯していない場合は、運転スイッチを 押します。

画面表示／補足

❷ リモコンのフタを開け、お湯はり湯量スイッチを押す。

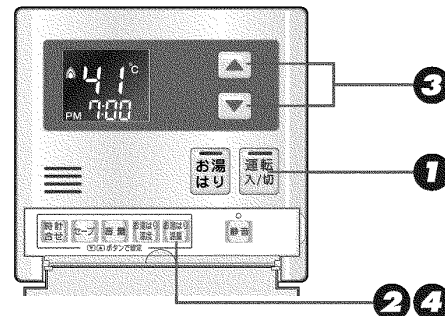
●右の画面が表示されます。
画面の数字は次頁の表の湯量です。

お湯はり 湯量

台所リモコン

浴室リモコン

・湯はり量とは、浴槽に湯はりするお湯のめやすの量をいいます。
・はじめて電源を「入」にしたとき、普通浴槽では200 リットルになっています。このときの水位表示は下から6番目で表示されます。

台所リモコン

❸ 給湯温度スイッチ（▲ ▼）を押して、湯はり量を変更する。

▲水位表示が1 目盛ずつ上がり、湯量も上がります。
▼水位表示が1 目盛ずつ下がり、湯量も下がります。

自動湯はりタイプの水位のめやす

水位表示（下から）	湯　量（リットル）	
	普通浴槽設定	大浴槽設定
表示なし	—	700
表示なし	—	650
表示なし	990	600
表示なし	400	550
12	350	500
11	300	450
10	280	400
9	260	380
8	240	360 ←大浴槽設定時の初期設定
7	220	340
初期設定→ 6	200	320
5	180	300
4	160	280
3	140	260
2	120	240
1	100	220
1	80	—
1	60	—

▲を押すと増える　▼を押すと減る

画面表示／補足

浴室リモコン

●お子様のイタズラなどを防止するため、普通浴槽設定の場合、400リットルや990リットルおよび80リットルや60リットルに設定するときには、▲ または ▼ を1秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。大浴槽設定の場合の550リットル以上にするときも同様です。
●普通浴槽⇔大浴槽の設定は、熱源機本体で切り替えます。切り替える場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。工場出荷時は普通浴槽設定になっています。

❹ お湯はり湯量スイッチを押す。

●「設定しました」とお知らせして、設定が完了します。

※お湯はり湯量スイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

使用方法⑥ 湯はり温度を調節する

●台所リモコン138-R015・R016・R017または浴室リモコン138-R018で操作します。（他のリモコンにはこの機能はありません）。

画面表示／補足

1 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

●点灯していない場合は、運転スイッチを押します。

2 リモコンのフタを開け、お湯はり温度スイッチを押す。

台所リモコンの場合：

●表示画面にふろの文字が点灯し、給湯温度表示から湯はり温度表示にかわります。

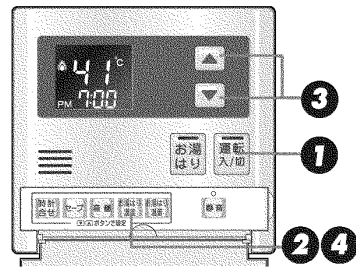
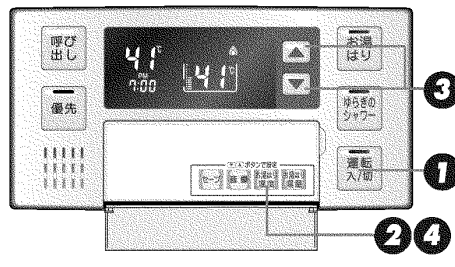
浴室リモコンの場合：

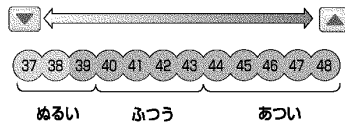
●表示画面が右図の表示になります。

※工場出荷時は42℃に設定されています。

3 給湯温度スイッチ（▼ ▲）を押して、ふろ温度を設定する。

● ▲ または ▼ を押すと、『お湯はり温度を○○℃に設定しました』とお知らせします。

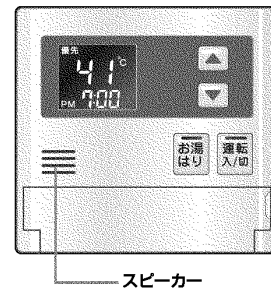
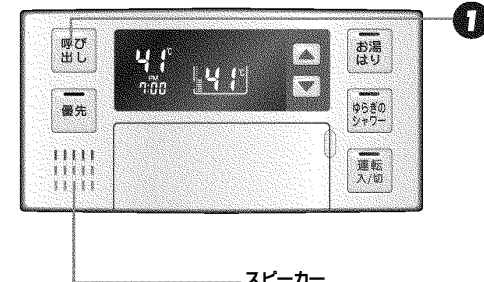
● ▼ または ▲ を押し続けると、45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

※温度表示はめやすです。

4 お湯はり温度スイッチを押す。

●設定が完了します。

※台所リモコンはふろの文字が消灯し、給湯温度表示にかわります。

※お湯はり温度スイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

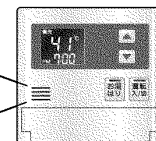
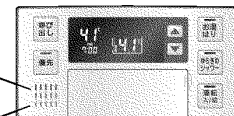
使用方法⑦ 浴室から人を呼びたいとき

●スタンダードタイプ以外の台所リモコンと浴室リモコンを設置している場合、浴室リモコンで操作して台所リモコン・増設リモコンで呼び出し音を鳴らすことができます。

●運転スイッチが「切」または「入」のどちらの状態でも呼び出し操作ができます。

画面表示／補足

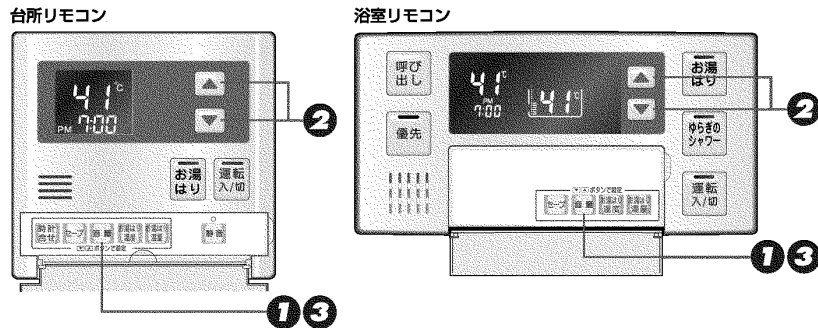
1 浴室リモコンの呼び出しを押す。

台所リモコンおよび増設リモコンのスピーカー：
「ピーッピピピ」と5回鳴ります。

浴室リモコンのスピーカー：
呼び出しスイッチを押している間
「ピーッピーッ」と鳴ります。

※増設リモコンは操作音を消している場合（40ページ参照）、「ピーッピピピ」と鳴りません。

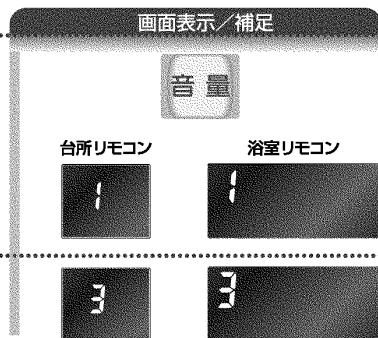
使用方法⑧ 音声の音量の変えかた

●各リモコンごとに設定できます。（増設リモコン138-R003およびスタンダードタイプのリモコンではこの操作はできません）

台所リモコン　　浴室リモコン

●運転スイッチが「入」「切」どちらの状態でも設定できます。

画面表示／補足

1 リモコンのフタを開け、音量スイッチを押す。

●表示画面に音量「-」「0」「1」「2」「3」で表示されます。

2 給湯温度スイッチ（▲ ▼）を押して、音量を変更する。

●お買い上げの際には中（標準）にセットされています。
音声と湯はり完了の音量については、下表のように変わります。

▼ ▲スイッチを押したときにお知らせする音声		リモコンの表示	音　声
▲を押す	（ピッ）音声は大です	3	大
初期設定	（ピッ）音声は標準です	2	中
▼を押す	（ピッ）音声は小です	1	小
▼を押す	（ピッ）音声を消します	0	なし(ブザー音：中)
▼を押す	（ピッ）音を消します	–	なし

●音声および音を消しても、注意を喚起する音声およびブザー音だけは消すことはできません。

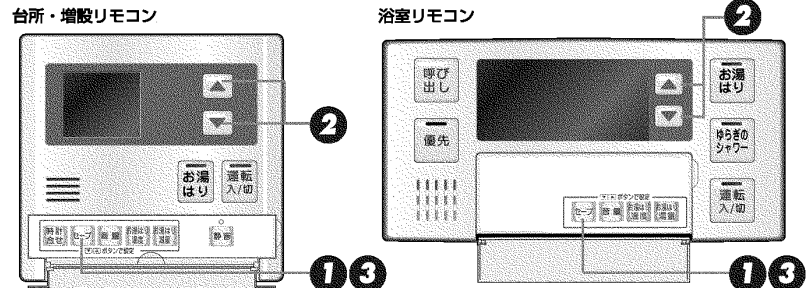
3 音量スイッチを押す。

●設定が完了します。

※音量スイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

使用方法⑨ リモコン表示を節電する

●スタンダードタイプ以外のリモコンには、リモコン表示を節電する「セーブモード」があり、各リモコンごとに「入」「切」の設定ができます。スタンダードタイプのリモコンにはこの機能がありません。
●セーブモードとは、リモコンの待機電力の低減（省電力）を目的とした機能です。セーブモードが「On」のときは、時間が経過すると自動的に表示が消えます。

台所・増設リモコン　　浴室リモコン

●運転スイッチが「入」「切」どちらの状態でも、セーブスイッチは操作できます。

画面表示／補足

1 リモコンのフタを開け、セーブスイッチを押す。

●表示画面に「On」（セーブモード入）または「OFF」（セーブモード切）が表示されます。

●お買い上げの際には、セーブモードは「On」に設定されています。

台所・増設リモコン　　浴室リモコン

「On」になっている場合は、すでにセーブモードになっています。

2 「OFF」になっている場合は、給湯温度スイッチ（▲ ▼）を押して「On」にする。

3 セーブスイッチを押す。

●「設定しました」とお知らせして設定が完了します。
●設定を解除するときは 1 ～ 3 の操作で「OFF」にします。

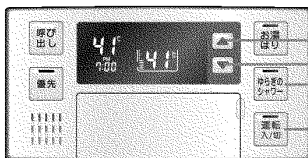
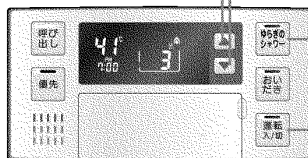
※セーブスイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。
※増設リモコンは音声のお知らせはありません。

お知らせ

・リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えて、運転スイッチのランプ(黄緑)のみ点灯します。浴室リモコンに優先権がある場合は、優先スイッチのランプ(オレンジ)も点灯します。ただし、給湯栓を1度も開けていない状態では、表示画面は消えません。1度給湯を使用してください。機器を再使用したり、いずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。給湯温度スイッチ・運転スイッチ以外のスイッチを押すと、表示画面が再び点灯するとともに、押したスイッチの動作が開始されます。
・湯はり運転中および給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため表示の節電（セーブモード）機能は働きません。
・電源プラグが抜けた場合や停電後には、セーブの設定が「On」になります。

使用方法⑩ ゆらぎのシャワーの使いかた

●浴室リモコン138-R018・R019で操作します。(他のリモコンにはこの機能がありません)

138-R018

138-R019

1 運転スイッチのランプ(黄緑)が点灯していることを確認する。

●点灯していない場合は、運転スイッチを押します。

画面表示/補足

2 ゆらぎのシャワースイッチを押す。

●表示画面に「ゆらぎ」が表示されます。

●浴室リモコン以外のリモコンが優先権(23ページ参照)を持っていた場合は、浴室リモコンに優先権が切り替わり、優先スイッチのランプ(オレンジ)が点灯します。

3 給湯温度スイッチ(▼ ▲)を押して、シャワーの温度を設定する。

●設定できる温度は39 ~44℃の6段階です。

※給湯設定温度が上記以外のときにゆらぎのシャワースイッチを押すと、設定温度が35℃・37 ℃・38℃のときには39℃、45℃以上のときには44℃のゆらぎのシャワーになります。

4 シャワー栓を開いてゆらぎのシャワーを出す。

●ゆらぎのシャワーは連続15 分使用するとキャンセルされ、その後は③で設定した温度のお湯が出ます。

●シャワー栓を閉めると、ゆらぎのシャワーは自動的に終了し、表示画面のゆらぎの表示が消えます。

画面表示/補足

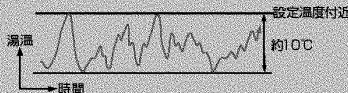
※ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。

※ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が台所(および増設)リモコンに移り、給湯設定温度も台所(および増設)リモコンで設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。

お知らせ

・ゆらぎのシャワーとは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約10℃ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。

※給湯配管の条件によっては、上記の温度間より高めの温度や低めのお湯が出る場合があります。

・湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止、全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざめ促進にも有効です。

⚠警告

●高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。

●やけど防止のため、おふろ(特にシャワー)の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。

●下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。

・妊娠中の方
・医者から入浴を禁じられている方
・お酒を飲んだあとや深酒をされた方
・高血圧の方/体力の弱っている方/体調の悪い方

⚠注意

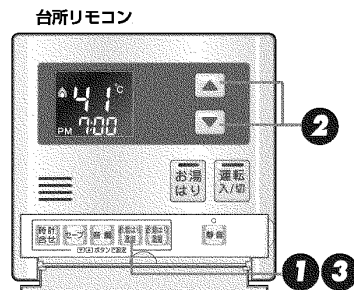
●給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモ付混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。

●サーモ付混合水栓の場合は、サーモスタットを高温設定にして水を混ぜずにお使いください。
なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。

使用方法⑪ 時計の合わせかた

●台所リモコン138-R015・R016・R017で設定します。

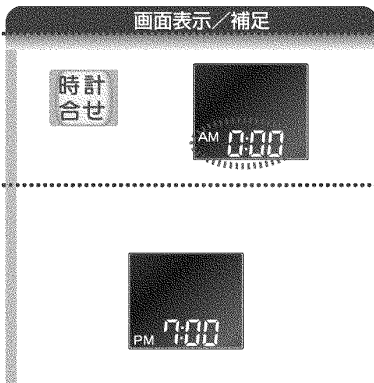
お知らせ
・浴室リモコンのみ設置の場合は時刻は表示されません。

・時刻が設定されていない状態で、運転スイッチを「入」にしたときは表示画面の時刻表示に「AM/PM -:-- 」が点灯します。
・スタンダードタイプの台所リモコンには、この機能がありません。

台所リモコン

●運転スイッチが「切」または「入」のどちらの状態でも時計合わせができます。

画面表示／補足

1 台所リモコンのフタを開け、時計合せスイッチを押す。

●表示画面に時刻表示に「AM 0:00 」が点滅します。

2 給湯温度スイッチ（▼ ▲）を押して、現在の時刻に合わせる。

▲を押し続ける：10分単位で進みます。
▼を押し続ける：10分単位で戻ります。
現在の時刻に近づいたら、1回ずつ押して1分ごと設定します。

3 時計合せスイッチを押す。

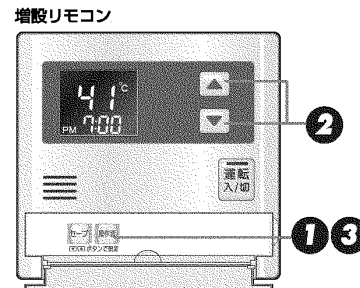
●「**設定しました**」とお知らせして、設定が完了します。
●時計合せスイッチを押した瞬間に秒は0秒になります。時報などに合わせて押すと、より正確な時刻になります。
●時刻合わせが完了すると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。

※時計合せスイッチを押さなくても、運転スイッチを「切」にしたりそのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。
※運転スイッチを「切」にすると、時計表示は消灯します。

お知らせ
・午前（AM）と午後（PM）を間違えないようにご注意ください。
・電源プラグが抜けた場合や停電後には「AM/PM -:-- 」の表示になります。再度時刻を合わせてください。

使用方法⑫ 増設リモコンの操作音を消す

■操作音を消す（増設リモコン）

●増設リモコン138-R003で操作します。
増設リモコンの操作音を消音にしたいときに使用します。

増設リモコン

●運転スイッチが「切」「入」のどちらの状態でも設定できます。

画面表示／補足

1 増設リモコンのフタを開け、操作音スイッチを押す。

●表示画面に「 On 」または「OFF 」が表示されます。

※「OFF 」になっている場合、すでに音を消した状態になっています。

2 「 On 」になっている場合は、給湯温度スイッチを押して「 OFF 」にする。

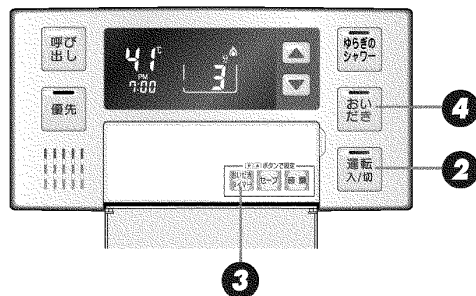
●「OFF 」にしたときは「ピッピッ」と鳴り、
●「 On 」にしたときは「ピッピピピ」と鳴ります。

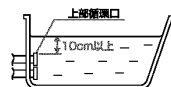
3 操作音スイッチを押す。

●設定が完了します。
●設定を解除するときは 1 ～ 3 の操作で「 On 」にします。

※操作音スイッチを押さなくても、そのまま1分経過すると、自動的に設定が完了します。

使用方法⑬ おいだきしたいときは …少しあつめにしたいときや昨日の残り湯を沸かしたいとき

●浴室リモコン（138-R019のみ）で操作します。
※この機能は浴槽にバスヒーターが設置されている場合のみ使用できます。

画面表示／補足

① 浴槽にお湯、または水が入っていることを確かめる。
(上部循環口より10cm以上うえまで)

② 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認する。

● 点灯していない場合は、運転スイッチを押します。

③ おいだきタイマースイッチでおいだき時間を調節する。

● おいだき時間は1～80分の範囲で調節できます。右図は3分にセットした例です。はじめてお使いのときは5分にセットされています。
● 1～58分は1分刻みで、60～80分は5分刻みでセットできます。スイッチを押し続けると連続的に数字が変わりますので、セットしたい時間に近づいたら1回ずつ押してください。

お願い
・おいだき運転時には循環口からあついお湯が出てきますので、身体などに直接あてないようにしてください。
・この機器はおいだき完了温度を設定するタイプではありません。浴槽のお湯の温度に関係なくタイマーで設定された時間だけおいだきします。沸かしすぎないようご注意ください。

④ おいだきスイッチを押す。

● おいだきスイッチのランプ（黄緑）が点灯し、表示画面に燃焼表示が点灯します。
● おいだきスイッチが黄色に光り、③でセットした時間おいだきします。
このとき表示画面にはふろ燃焼表示が点灯し、おいだき時間表示部においだきの残り時間が表示されます。(80～60分は5分刻み、58～1分は1分刻み)
● 途中で止めたいときはもう一度おいだきスイッチを押してください。
● おいだきが終わると約5秒間リモコンのブザーでお知らせします。
● おいだき中にタイマーを変更した場合、変更したタイマーのおいだきをそのまま続けますが、おいだき終了後は変更前の表示に戻ります。

お願い
・その他、バスヒーターにはいろいろな種類（湯かげんハンドルによるおいだきなど）がありますので、それぞれの取扱説明書に従って操作してください。

使用方法⑭ 暖房の使いかた

●放熱器や床暖房リモコンで操作します。

⚠警告

- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
  - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
  - ・疲労の激しいときやお酒や睡眠薬を飲まれた方
  - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方
- パネルヒータの表面にさわらないでください。やけどの危険性があります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。

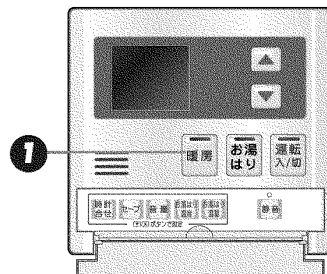
⚠注意

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。

1 暖房する部屋の放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチを「入」にし、温度調節つまみをお好みの温度にします。（放熱器（暖房）の取扱説明書もご覧ください）

- 燃焼中は表示画面に燃焼表示（🔥）が点灯します。

■暖房スイッチの使いかた

台所リモコン138-R016のみ操作できます。

放熱器や床暖房リモコンの運転スイッチの「入」・「切」で機器の暖房運転ができない場合、下記操作で機器を運転します。

- [運転入/切]が「入」・「切」どちらの状態でも、[暖房]は操作できます。

1 [暖房]を押す。

- [暖房]のランプ（赤）が点灯します。

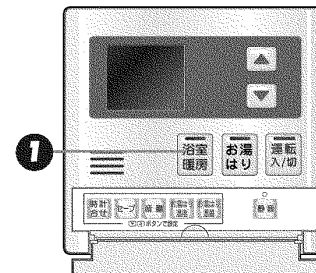
2 放熱器の操作をする。

画面表示／補足

使用方法⑮ 浴室暖房の使いかた

●台所リモコン138-R017のみ操作できます。

- [運転入/切]が「入」「切」どちらの状態でも、[浴室暖房]は操作できます。

1 [浴室暖房]を押す。

- [浴室暖房]のランプ（赤）が点灯して、浴室暖房を開始します。浴室リモコンでは右の表示が点灯します。

画面表示／補足

台所リモコン　浴室リモコン

※給湯器のリモコンで予備暖房運転を行う為には、システムに対応した浴室暖房乾燥機が必要です。

お知らせ

■浴室暖房乾燥機の温度調節は？
- ・このリモコンでは浴室暖房乾燥機の暖房運転の「入」「切」のみ行うことができます。温度調節その他の設定は、浴室暖房乾燥機のリモコンで行ってください。
- ・このリモコンで浴室暖房乾燥機の暖房運転を行った場合、ワイヤレスタイプの浴室暖房乾燥機のリモコンには何も表示されず「切」のままになっています。温度調節などを行いたい場合は、浴室暖房乾燥機のリモコンの運転スイッチも「入」にしてから行ってください。

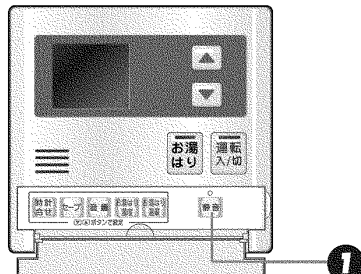
■浴室暖房をやめたいときは？
- ・もう一度[浴室暖房]を押すと停止します。

※リモコンの[運転入/切]を「切」にしても浴室暖房は停止しません。

お願い

- ・運転開始は入浴される約30分前から行ってください。
- ・浴室暖房時間は、浴室の種類や大きさ・気温や湿度によって異なります。浴室暖房乾燥機のリモコンで設定調整してください。

使用方法⑯ 暖房の運転音を下げる

●台所リモコン138-R015・R016・R017でのみ操作できます。下のイラストは138-R015の例ですが、138-R016・R017も同じ場所にスイッチがあります。

● 運転入/切が「入」「切」どちらの状態でも、静音は操作できます。

1 台所リモコンのフタを開け、静音を押す。

● 静音のランプ(黄緑)が点灯して、設定が完了します。
● 再度静音を押すと静音のランプ(黄緑)が消灯して、設定が解除されます。

お知らせ

静音のランプ(黄緑)が点灯中は暖房能力を少し低下させて、運転音を下げます。このとき、暖房の立ち上がりが悪くなることがあります。

画面表示／補足

冬期の凍結による破損防止について

●暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

⚠注意

● 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
● 外気温が極端に低く(−15℃以下)なる日や、それ以上の気温でも風のある日は対策その1では凍結予防ができなくなります。このような場合には、対策その2、その3の方法を行ってください。
● 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

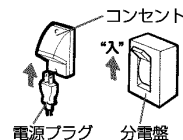
対策その1 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法

● この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ(給湯側)と自動ポンプ運転装置(暖房側)が組み込まれています。
自動ポンプ運転を開始すると、スタンダードタイプ以外の各リモコンの表示画面に浴室リモコンは「🔥」表示が、台所・増設リモコンには「凍結予防」表示が出ます。

台所・増設リモコン

浴室リモコン

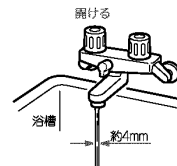
■お客様に行っていただきたいこと

1.電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
●抜けているとヒータ・ポンプとも作動しませんのでご注意ください。

対策その2 給湯栓から水を流す方法

● この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。ただし、暖房側はポンプ運転により凍結を予防しますので、上記対策その1同様電源プラグをコンセントから抜かないでください。

■操作のしかた

● リモコンの運転スイッチを『切』にします。
● ガス栓が全開になっていることを確認してください。(暖房の凍結防止のため)
● 浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。

※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
※浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。

シャワーから水を流す場合、シャワーヘッドは浴槽にたまった水につからない位置に置いてください。

⚠注意

● 水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。
● サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

冬期の凍結による破損防止について

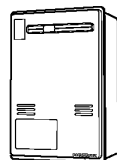
暖房の凍結予防について
- 外気温が0℃近くまで下がってくると、自動的にポンプが運転し、暖房燃焼して暖房水を循環させて、凍結を予防します。(電源プラグをコンセントから抜かないでください)
- 「☼」スノーマークがある放熱器は運転つまみをスノーマークに合わせてください。
- 暖房の凍結予防運転中は排気口から白い湯気が出ることがありますが、これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。
- 不凍液を入れる方法もあります。

お願い

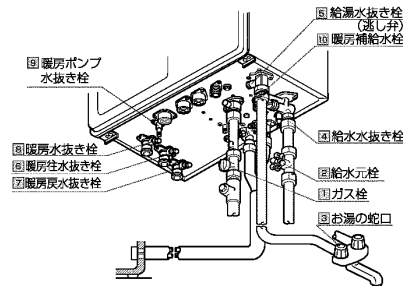
対策その3 水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。

※使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを『切』にする)ときのみ行ってください。
不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。

不凍液の確認
不凍液が入っている場合は、「不凍液が入っています」というラベルが張ってあります。

■操作のしかた

①ガス栓[1]を閉めてください。
②給水元栓[2]を閉めてください。
③お湯の蛇口[3]をすべて(シャワーなどを含む)開けてください。
④給水水抜き栓[4]・給湯水抜き栓[5]を左に回してはずしてください。
⑤台所リモコン138-R015・R016・R017や浴室リモコン138-R018・R019をご使用の場合は、いずれかのリモコンの運転スイッチを3秒間押し続けてください。「ピッ」という操作音が鳴って、時刻表示部に「AAA」が約10秒間点滅します。

※上図の[8]は135-R860シリーズにはありません。

- 以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまで給湯栓や水抜き栓は開けたままにしておいてください。

お願い

■暖房側の水抜き

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く(分電盤の専用スイッチを『切』にする)ときのみ行ってください。
不凍液注入の有無はフロントカバー右下に張ってあるラベルで分かります。

①ガス栓[1]が閉めてあることを確認してください。
②給水元栓[2]が閉めてあることを確認してください。
③暖房水抜き栓[6]・[7]・[8]([8]は135-R840・R850シリーズのみ)・暖房ポンプ水抜き栓[9]を左に回してはずしてください。
※リモコンが接続されている場合、リモコン表示画面に故障表示が点滅しますが異常ではありません。
④電源プラグを抜いてください。(分電盤の専用スイッチを『切』にしてください)

《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

■機器に通水してください。

①お湯の蛇口[3]をすべて(シャワーなどを含む)閉めてください。
②給水水抜き栓[4]・給湯水抜き栓[5]を閉めてください。
③給水元栓[2]を全開にしてください。
④お湯の蛇口[3]を開け通水を確認した後、お湯の蛇口[3]を閉めてください。
⑤暖房水抜き栓[6]・[7]・[8]([8]は135-R840・R850シリーズのみ)・暖房ポンプ水抜き栓[9]をすべて閉めてください。
⑥電源プラグをコンセントに差し込んでください。(分電盤の専用スイッチを『入』にしてください)
⑦リモコンの運転スイッチが『切』になっている(表示画面が消灯している)ことを確認した後、ガス栓[1]を全開にしてください。
※通水後初めて暖房・おいだきを使用する場合でリモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅する場合は暖房水抜き栓[6]・[7]・[8]([8]は135-R840・R850シリーズのみ)・暖房ポンプ水抜き栓[9]が閉まっていることを確認し電源を一旦「切」にした後再度「入」にしてください。

点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず●ガス栓を閉め●電源プラグを抜き●機器が冷めてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検…次のことにご注意ください。

お願い

水圧の低い地域では、泡沫器や浄水器を使用しないでください。お湯の量が少なくなります。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？また、各部品とも正しくセットされていますか？
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器のまわりや排気口・排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか？
- お湯の蛇口の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ（金網）を掃除してください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせてください。
- 定期点検のおすすめ（有料）
  ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心して長くご使用いただくために、年１回程度の定期点検をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

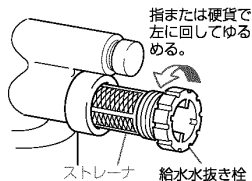
●不凍液の点検と交換（有料）
- 不凍液は1年に1回は濃度や汚れなどの点検を、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ依頼してください。
- 不凍液の性能が低下していた場合は交換が必要です。交換のめやすは約2年に1回です。

※不凍液の性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

■お手入れ方法は

- **機器やリモコン**の表面が汚れたときは、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）を含ませた柔らかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。台所・増設リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。
- 給水水抜き栓先端の**ストレーナ**にゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

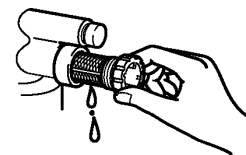
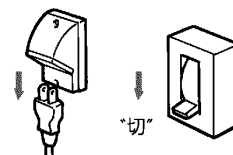
※必ず給水元栓を閉めてから行ってください。

- **機器の給気口**（フロントカバーの穴）がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。

長期間使用しない場合は

長期間使用しない場合は次のことを行ってください。

1 ガス栓を閉めます。

2 給水元栓を閉めます。

3 機器の水抜きをします。（47・48ページ参照）

4 電源プラグを抜きます。（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）

⚠警告

ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

「温度」に関する内容

こんなとき	点検項目	参照ページ
お湯の蛇口を開いても お湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？	
	断水していませんか？	
	お湯の蛇口は十分に開いていますか？	
	ガスメータ（マイコンメータ）がガスをしゃ断していませんか？	
	ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？	
	水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？	（49ページ）
	凍結していませんか？	
	運転スイッチは「切」になっていませんか？	
お湯の蛇口を開いても すぐお湯にならない	機器からお湯の蛇口まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。	
低温のお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？	
	給湯温度設定は適切ですか？	（21～26ページ）
	お湯の量を絞っていませんか？ お湯の蛇口をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	
	夏期などの水温が高いときには、設定温度よりも熱いお湯が出ることもありますが、異常ではありません。	
高温のお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？	
	給湯温度設定は適切ですか？	（21～26ページ）
	冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。	
	お湯の蛇口を少し閉めてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。	
	混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。	
	お湯はり中に台所などでお湯を使うと、リモコンの表示はそのままでふろ設定温度のお湯が出ます。また、お湯はり運転終了後も一旦お湯の使用をやめるまでは、やけど防止のためふろ設定温度のお湯がでます。	
お湯の蛇口を絞ると水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。 お湯の蛇口をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯が出ます。	
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンの優先ランプは点灯していますか？	（23・26ページ）
ふろ設定温度どおりにお湯はりできない	ふろ温度設定は適切ですか？	
	お湯はり中にふろ温度を低く設定しなおした場合、実際の湯はり完了時の温度は設定温度より高くなることがあります。	
ゆらぎのシャワーができない ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	夏期などは、給水温が高くなりゆらぎのシャワーの効果が得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることもあります。	
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか？	（37・38ページ）
	運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確かめた後お湯の蛇口を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障（水量制御装置）ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。	

「湯はり・湯量」に関する内容

こんなとき	理　由	参照ページ
お湯の蛇口から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。	
	お湯の蛇口の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。	
お湯はりの量が設定した湯量にならない	お湯はり中に台所などでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。	
	お湯はり量の設定は適切ですか。	（31・32ページ）
	浴槽の残り湯がある状態でお湯はり運転をすると、その分だけ水位が高くなります。	
	おふろの排水栓はしっかりと閉めてありますか。	
オーバーフロー口からお湯が少しの間出ることがある	断水の後や機器の水抜きをした後に再度ご使用の場合、少しの間お湯が出ることがありますが異常ではありません。ただし、連続して出続ける場合は、機器の故障が考えられますので、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。	

「音」に関する内容

こんなとき	理　由	参照ページ
出湯停止後しばらくの間ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、出湯停止後もしばらく回転しています。	
ポンプの回転音（ウーン）がする	長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。（1カ月ごと）	
リモコンの運転スイッチ「入」「切」やお湯の蛇口の開閉時または給湯使用後しばらくすると、モーターが動く音がする	再使用時の点火をより早くし、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。異常ではありません。	
暖房運転中や停止後およびふろのおいだきのあと、しばらくするとモータが動く音（ブーン）がする。	再使用時に備えて機器が作動している音です。異常ではありません。	

故障かな？と思ったら

「リモコン」に関する内容

こんなとき	理　由	参照ページ
運転ランプが点灯しない	停電していませんか？ 電源プラグが差し込まれていますか？ 機器内の漏電安全装置が作動していませんか。一旦分電盤の専用スイッチを「切」にしてから再度「入」にするか、電源プラグをコンセントから抜いて再び差し込んでから再操作してください。	
リモコンの時刻表示が「-:--」になっている	停電後、再通電すると台所リモコンの表示画面の時刻が「-:--」になります。再度設定しなおしてください。	（39ページ）
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。	
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	セーブモードの設定にしてある場合、給湯を使用してから約25分たつと表示画面が消えます。 再使用したりいずれかのスイッチを押すと、表示画面が再び点灯します。	（36ページ）
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない	表示の節電（セーブモード）がはたらいているときに▼▲運転スイッチを押すと、いったん表示節電画面から給湯温度表示画面に戻り、もう1度押すとそのスイッチの動作をします。 運転スイッチの「入」・「切」は、運転スイッチのランプ（緑）の点灯・消灯で確認してください。	（36ページ）

その他

こんなとき	理　由	参照ページ
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。	（54ページ）
使用中に消火した	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ 断水していませんか？ お湯の蛇口は十分に開いていますか？ ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していませんか？ ＬＰガスの場合、ガスがなくなっていませんか？	
排気口・排気筒トップから白い湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるように、燃焼排ガス中の水蒸気が白い湯気に見えますが、故障ではありません。また、お湯を使っていなくても、暖房回路の凍結予防時には白い湯気が出ます。	
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違ってまったく無害なものです。	
逃し弁（47ページの図中の⑤）からお湯（水）が少しの間出ることがある	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきによって逃し弁から水滴が落ちることがあります。	
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	給水配管が新しい場合や水質によっては、微量の銅イオンがお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青く着色することがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤などで洗い・すすぎをよくすることにより、発色しにくくなります。	

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

機器が故障するとリモコンに下図のような故障表示が点滅します。
故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

● 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

※スタンダードタイプのリモコンの場合は、デジタルモニターに下図の3ケタの数字のうち左の2ケタを表示します。

スタンダードタイプ以外のリモコンの表示画面　浴室リモコン　台所リモコン

スタンダードタイプ以外のリモコンの運転スイッチ

スタンダードタイプのリモコンのデジタルモニター

給湯温度と交互に表示します。

故障表示	使用状態
031	給湯 湯はり
101	給湯 湯はり
103	おいだき 暖房
111	給湯
113	おいだき 暖房
121	給湯 湯はり
123	おいだき 暖房
140	給湯 湯はり おいだき 暖房
161	給湯 湯はり たし湯
163	おいだき 暖房
173	給湯 湯はり おいだき 暖房
190	給湯 湯はり おいだき 暖房
310	給湯 湯はり おいだき 暖房
313	おいだき 暖房
321	給湯 湯はり
323	おいだき 暖房
331	給湯 湯はり
433	給湯 湯はり おいだき 暖房
521	給湯 湯はり
523	おいだき 暖房
543	給湯 湯はり おいだき 暖房
611	給湯 湯はり おいだき 暖房
613	給湯 湯はり おいだき 暖房
651	給湯 湯はり
710	給湯 湯はり おいだき 暖房
721	給湯 湯はり おいだき 暖房
723	湯はり おいだき 暖房
763	給湯 湯はり おいだき 暖房
901	給湯 湯はり
991	給湯 湯はり
903	おいだき 暖房
993	おいだき 暖房

101・103を表示しているときは、お湯や暖房を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力が出ない状態となります。気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

主な仕様・能力表

品名	135-R840	135-R844	135-R842	135-R845	135-R846
型名	RUH-V2403W2-1(B)	RUH-V2403A2-1(B)	RUH-V2403T2-1(B)	RUH-V2403B2-1(B)	RUH-V2403U2-1(B)
型式名	RUH-V2403W(B)	RUH-V2403A(B)	RUH-V2403T(B)	RUH-V2403B(B)	RUH-V2403U(B)
設置方式	屋外壁掛設置または パイプシャフト設置	屋外壁掛設置または PS(扉内)アルコーブ設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト(扉内)設置	パイプシャフト(扉内)設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト扉内設置
		側方排気型	前方排気型	後方排気型	上方排気型
外形寸法(mm)	幅 480 ×奥行 250 ×高さ 750				
質量(kg)	37				
温度調節 給湯 浴室	温度設定可変型(約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃)				
温度調節 給湯 台所	温度設定可変型(約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃)				
温度調節 暖房	2 温度型(約 80℃ および約 60℃)				
点火方式	AC100V 連続放電式(ダイレクト点火)				
接続 ガス	13A・12A は 20A(R3/4)、LPG は 15A(R1/2)				
接続 給水・給湯	20A(R3/4)				
接続 暖房(往・戻)	QF16 ジョイント用継手				
電気関係 電源	AC100V				
電気関係 リモコン側	DC24V 以下				
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 待機時	2.6				
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 同時使用	150/180	180/210			
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 凍結予防ヒータ	148				
電気関係 電源ケーブル リモコンケーブル	VCT(2 心)/ VCT または VCTF(2 心)				
安全装置	立消え安全装置 空だき安全装置 空だき防止装置 沸騰防止装置 過熱防止装置 過電流安全装置 過圧防止安全装置 ファン回転検出装置 漏電安全装置 凍結予防装置 停電安全装置 誘導雷保護装置				

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ(13A・12A 共通)		1 時間当たりのガス使用量:kW( )内は kcal/h			出湯能力(能力最大):L/min	
		同時使用時	給湯	暖房	25℃ 上昇	40℃ 上昇
都市ガス用	13A	65.2(56,000)	50.0(43,000)	17.4(15,000)	24.0	15.0
都市ガス用	12A	60.8(52,300)	46.6(40,100)	16.3(14,000)	22.3	13.9
LPガス用		65.2kW(4.67kg/h)	50.0kW(3.57kg/h)	17.4kW(1.25kg/h)	24.0	15.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名	135-R850	135-R854	135-R852	135-R855	135-R856
型名	RUH-V1613W2-1(B)	RUH-V1613A2-1(B)	RUH-V1613T2-1(B)	RUH-V1613B2-1(B)	RUH-V1613U2-1(B)
型式名	RUH-V1613W2(B)	RUH-V1613A2(B)	RUH-V1613T2(B)	RUH-V1613B2(B)	RUH-V1613U2(B)
設置方式	屋外壁掛設置または パイプシャフト設置	屋外壁掛設置または PS(扉内)アルコーブ設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト(扉内)設置	パイプシャフト(扉内)設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト扉内設置
		側方排気型	前方排気型	後方排気型	上方排気型
外形寸法(mm)	幅 480 ×奥行 250 ×高さ 750				
質量(kg)	35				
温度調節 給湯 浴室	温度設定可変型(約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃)				
温度調節 給湯 台所	温度設定可変型(約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃)				
温度調節 暖房	2 温度型(約 80℃ および約 60℃)				
点火方式	AC100V 連続放電式(ダイレクト点火)				
接続 ガス	13A・12A は 20A(R3/4)、LPG は 15A(R1/2)				
接続 給水・給湯	15A(R1/2)				
接続 暖房(往・戻)	QF16 ジョイント用継手				
電気関係 電源	AC100V				
電気関係 リモコン側	DC24V 以下				
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 待機時	2.6				
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 同時使用	145/175	175/205			
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 凍結予防ヒータ	132				
電気関係 電源ケーブル リモコンケーブル	VCT(2 心)/ VCT または VCTF(2 心)				
安全装置	立消え安全装置 空だき安全装置 空だき防止装置 沸騰防止装置 過熱防止装置 過電流安全装置 過圧防止安全装置 ファン回転検出装置 漏電安全装置 凍結予防装置 停電安全装置 誘導雷保護装置				

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ(13A・12A 共通)		1 時間当たりのガス使用量:kW( )内は kcal/h			出湯能力(能力最大):L/min	
		同時使用時	給湯	暖房	25℃ 上昇	40℃ 上昇
都市ガス用	13A	51.4(44,200)	34.0(29,200)	17.4(15,000)	16.0	10.0
都市ガス用	12A	47.9(41,200)	31.6(27,200)	16.3(14,000)	15.0	9.4
LPガス用		51.4kW(3.68kg/h)	34.0kW(2.43kg/h)	17.4kW(1.25kg/h)	16.0	10.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

品名	135-R860	135-R864	135-R862	135-R865	135-R866	135-R867
型名	RUH-V1613W(B)	RUH-V1613A(B)	RUH-V1613T(B)	RUH-V1613B(B)	RUH-V1613U(B)	RUH-V1613F(B)
型式名	RUH-V1613W1(B)	RUH-V1613A1(B)	RUH-V1613T1(B)	RUH-V1613B1(B)	RUH-V1613U1(B)	RUH-V1613F1(B)
設置方式	屋外壁掛設置または パイプシャフト設置	屋外壁掛設置または PS(扉内)アルコーブ設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト(扉内)設置	パイプシャフト(扉内)設置	屋外壁掛設置または パイプシャフト扉内設置	屋外壁掛設置
		側方排気型	前方排気型	後方排気型	上方排気型	強制給排気型
外形寸法(mm)	幅 480 ×奥行 250 ×高さ 750					
質量(kg)	35					
温度調節 給湯 浴室	温度設定可変型(約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃)					
温度調節 給湯 台所	温度設定可変型(約 35℃・約 37℃ ~約 48℃・約 50℃・約 60℃)					
温度調節 暖房	簡易 2 温度型(約 80℃ または約 60℃)					
点火方式	AC100V 連続放電式(ダイレクト点火)					
電気関係 電源	AC100V					
電気関係 リモコン側	DC24V 以下					
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 待機時	2.6					
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 同時使用	145/175	175/205				
電気関係 消費電力 W (50/60Hz) 凍結予防ヒータ	132					
電気関係 電源ケーブル リモコンケーブル	VCT(2 心)/ VCT または VCTF(2 心)					

※接続・安全装置の仕様は、上記の 135-R850 と同じです。
※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

ガス消費量・出湯能力一覧表

使用ガスグループ(13A・12A 共通)		1 時間当たりのガス使用量:kW( )内は kcal/h			出湯能力(能力最大):L/min	
		同時使用時	給湯	暖房	25℃ 上昇	40℃ 上昇
都市ガス用	13A	47.0(40,400)	34.0(29,200)	13.0(11,200)	16.0	10.0
都市ガス用	12A	43.7(37,600)	31.6(27,200)	12.1(10,400)	15.0	9.4
LPガス用		47.0kW(3.36kg/h)	34.0kW(2.43kg/h)	13.0kW(0.93kg/h)	16.0	10.0

※出湯能力は混合水栓を使用した場合の計算値です。

アフターサービスについて

■アフターサービス（点検・修理など）を依頼される前に

- 51～54ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
  確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印など）
  2. 品　名…135-R840～R846型・135-R850～R856型・135-R860～R867型（品名は機器のフロントカバーに張ってある銘板の下部に書いてあります）
  3. 現　象…できるだけ詳しく
  4. 訪問ご希望日

■転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。
- ガスの種類（ガスグループ）が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のもよりのガス事業者にご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- この取扱説明書には保証書が付いています。
- 保証書に記載のように、給湯暖房機の故障について修理いたします。
  詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。詳しくは保証書をごらんください。

■修理用性能部品の保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- この機器の修理用性能部品の保有期間は製造打切後10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。